

▼レットヴィモカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】セルベルカチニブ Selpercatinib 【分類】抗悪性腫瘍剤 [RET 受容体型 TKI]

【単位】▼40mg・▼80mg/cap

【常用量】1回160mgを1日2回 [適宜減量]

【用法】

【透析患者への投与方法】データなし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】AUC (free 体) が、中等度腎機能障害患者で1.89倍、重度腎障害患者で1.54倍 (1)

【特徴】RET, EGFR, FGF等のキナーゼ活性を阻害。RET融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に適用。

【主な副作用・毒性】肝機能障害, QT延長, 過敏症, 高血圧, 皮膚症状, 消化器症状など

【安全性に関する情報】QT延長のポテンシャルあり, 投与前QTc間隔470msec以下であること。電解質異常がないかを確認 (1)

【吸収】溶解度はpHの上昇により低下 (1) AUCは食事の影響をほとんど受けない (1)

【F】73.2% (1)

【tmax】

【代謝】CYP3A4によって代謝 (1) CYP2C8, 3Aを阻害 (1) 血中では主に未変化体として存在 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率11.5% [po, 432hrまで] (1)

BCRPの基質で乳汁移行の可能性あり (1)

【CL/F】4.31L/hr (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】96% (1)

【Vd】

【MW】525.60

【透析性】

【O/W係数】

【相互作用】CYP2C8, 3A4基質薬物の血中濃度上昇 (1) CYP3A4阻害剤・誘導剤の影響あり (1) 胃酸抑制により吸収低下の可能性 (1) MATE1阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】RET融合遺伝子は非小細胞肺癌の1~2%で同定 (Drilon A, et al: N Engl J Med 2020 PMID: 32846060)

【更新日】20211130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。